

事業戦略説明会質疑応答

2009年3月9日開催

日時 : 2009年3月9日 (月) 14:00~14:50

場所 : 東京証券取引所

説明者 : 代表取締役社長 井上高志氏

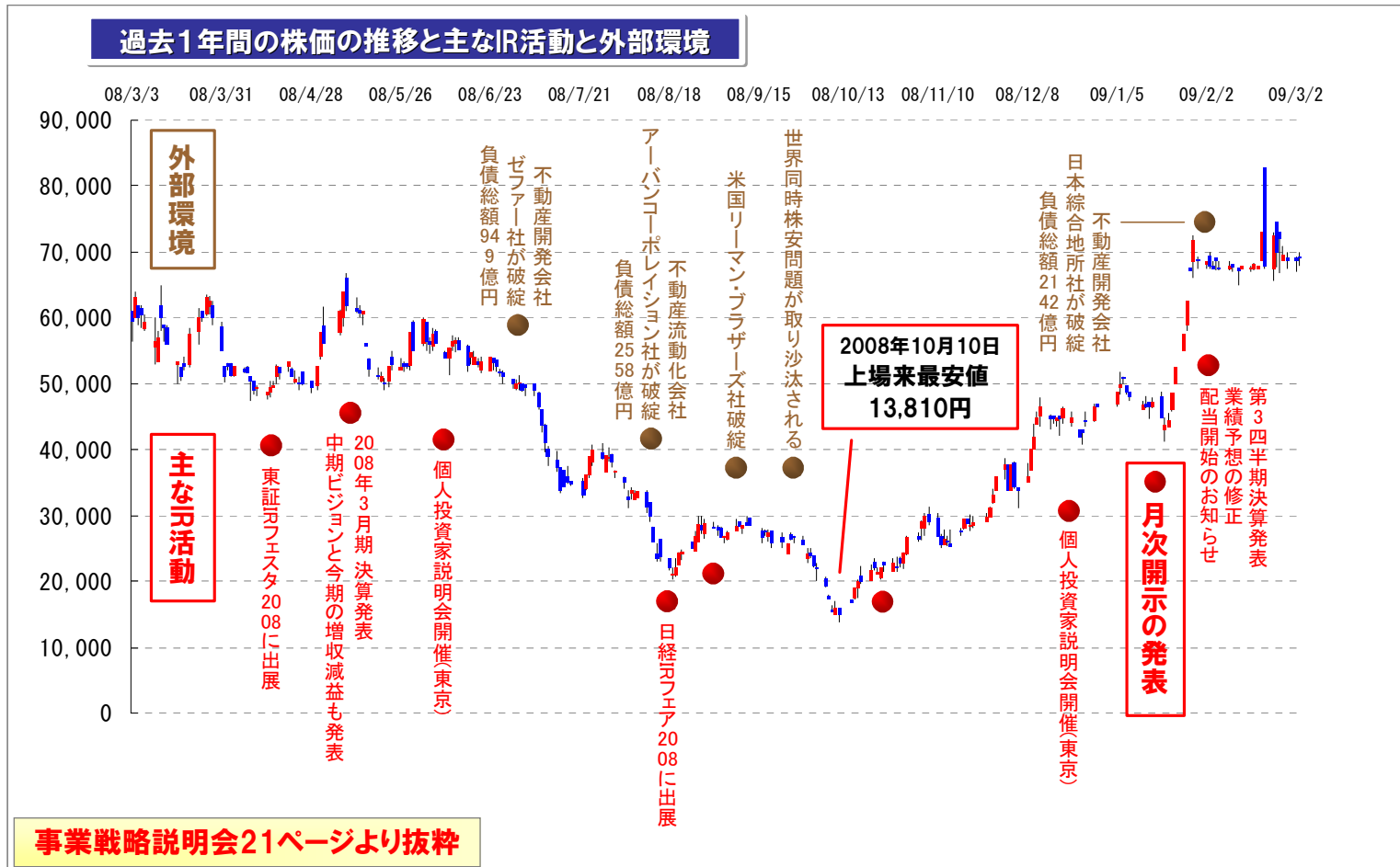
質問数 : 4問

出席者数 : 75名

A.1

株価は弊社はお答えできる立場にありませんので、その点をご理解頂ければ幸いです。

2008年10月に上場来最安値を記録したが、当時は「不動産セクター」と誤解されていたのか、手持ち現預金以下の時価総額まで下がった背景がある。その後、毎月発表している月次開示などを見て、不況下にあってもしっかりと成長していると認識していただいた結果、株価が見直されたのではないかと見ている。



A.2 当社の売上高は「加盟店数」×「加盟店当たり売上高」となっているが、今期においては共に若干未達となる見通しの為、修正した。要因としては外部要因よりは内部要因が多いと考えている。ストックビジネスである為期初の若干の未達が年間トータルでは5%程度の未達となってしまう。今期は新卒が例年より多く入社した為、4~6月は教育に時間がかかった。今期の反省を生かすため、来期は研修・教育体制も整備し、期初に退会阻止を目的とした広告宣伝活動も予定している。

■ 売上高の考え方

$$\text{売上高} = \text{加盟店数(顧客数)} \times \text{加盟店当たり売上高}$$

■ 2009年3月の加盟店数と加盟店当り売上高（見込み）

	2008年3月	2008年12月	2009年3月(見込み)
加盟店数	8,761店舗	9,434店舗	10,000~10,500店舗
加盟店当たり売上高	55,610円	54,447円	55,000円前後

Q.3 掲載されている物件情報のチェック体制がしっかり行なわれているか(コンプライアンスを遵守しているか)教えていただきたい。

A.3 当社には「情報審査室」という部署があり、こちらにてユーザーや不動産会社などから問題がある物件情報や、不動産会社の情報を受付けている。また、内部でも同部署の担当者も掲載物件をチェックしている。

また、利用規約上にてもし違法を発見した場合には「掲載停止」や「強制退会」などの処分を行う旨定めており、年間を通じてこれらの違反行為がない場合は「認定店」としてプラスの評価をすることで、不動産会社が違反しないような啓蒙活動を行っている。



HOME'S認定店シール

【認定店舗数(1年間規約違反がなかった店舗)】

2009年版 4,584店舗 2008年版 4,667店舗

【審査基準】

- ・ 2007年9月30日以前にHOME'S会員に入会していること
- ・ 情報審査期間中にHOME'S情報審査規約(おとり広告や誇大広告など)に抵触する違反行為がなかったこと
- ・ 情報審査期間：2007年10月1日～2008年9月30日
- ・ その他、当社が独自に設けた審査基準を満たしていること

A.4 当社は借入金がない為そのような概念はない。複数の銀行とお取引はさせていただいている。
 また、先行投資も基本的には営業キャッシュフローの中で行うことを前提とし、超過したとしても手持ち現預金で賄える分の投資しか行なわない。

■ 連結キャッシュフロー計算書サマリー

単位：百万円	前期 07年4-12月	【当期】 08年4-12月	主要因
営業CF	629	312	今期：税引前利益の減少267百万円
投資CF	▲2,287	▲657	前期：約1,500百万円分の国債を購入した為（現在は売却済み） 今期：マンション100%、ERP、Lococomなどへ投資 敷金191百万円の支払い
財務CF	3	▲238	今期：自己株式を240百万円分取得したため
現金及び 現金同等物の増減	▲1,655	▲583	
現金及び 現金同等物残高	2,478	3,997	今期：前期購入した国債を08年3月に売却済みにより、対前年同期末 比大幅増

今期は業務基幹システムや新規事業の投資があった為、
営業キャッシュフロー<投資キャッシュフローだが、現金及び現金同等物は40億円の残高がある